

「自分のことばかり喋る人」に
なりたいわけじゃないのに...



② 何か話さなきゃ、と思うから自分のことばかり話してしまう (ときには相手の話の腰を折ってまで)



④ 相手の話は上の空で「次に何を言うか」考えてしまう



① 面白いことを言わなきゃ!と必要以上に笑いを取りにいってしまう



③ 逆に、相手を質問攻めにしてしまう



⑤ 相手が話したいかどうかお構いなしに話を進めてしまう



コラム:「自分のことばかり喋る人」が、本当に
実に悲しい話ですが、こういうことは時々あります。なんかこの人、自分のことばかり喋る人だなあと感じていたら、実はその人は「自分が喋って場を盛り上げなければ」というプレッシャーで一生懸命喋ってくれていた、なんてこと。
私自身も、「とにかく何か喋らなければ」という強烈なプレッシャーから、「とにかくなんか喋る→取り急ぎ思いつくネタは自分のこと」となって、自分の話ばかりしたり、せつかく人が話し始めたのに「そうですよね、実は私も…」てな感じで

「自分のことばかり喋りたい」とは限らない
強引に話をひたたくってしまったったりした苦しい出があります。
「喋らなきゃプレッシャー」>>>「相手の話をちゃんと聞く」になってしまっているのです。
本当は「相手の話にうまくあいづちを入れる」というのが一番いいのですが、こういう心理状態ではとにかく沈黙がコワイのですね。そんな方々が、この「会話のきっかけレシピ」で「沈黙の恐怖・喋らなきゃプレッシャー」から少しでも解放されればいいなあと切に願います。